

教養・基礎教育部門

2022 年度 研究活動報告

教養・基礎教育部門

教授 木村 正則、教授 赤羽 仁志、
准教授 西垣 佐理、准教授 シェリダン ロバート・ジョン

1) 令和4年度活動報告

教養・基礎教育部門の構成員それぞれの専門分野を基盤として、外国語科目（とくに英語）に関連する幅広い研究を行っている。令和4年度、木村教授は従来どおり高等教育問題に関わる研究に取り組んだ。具体的には英語教育に従事する教員の学歴についての調査を行った。その結果、教員の学歴（学士号取得大学）と現在勤務する大学の種別には一定の関係があり、特に一部の国立大学と私立大学では教員供給の循環が示唆された。西垣准教授は、ヴィクトリア朝時代の男性性と男性による看護表象についてエミリー・ブロンテの小説『嵐が丘』の分析を中心にジェンダーロールの曖昧さを論じた。赤羽准教授は、現行のミニマリスト・プログラムの枠組みに立脚し、日英語の関係構造の統語的派生と外在化について考察した。シェリダン准教授にてSDGsを日本文化に関連したものとして教えるための効果的な方法の研究を行っている。その結果から、SDGsをグローバルな課題として扱うだけでなく、ローカルな課題としても扱い、日本の大学生向けの新しいレベルに合った教材を作成している。

「原著論文」

- 1) Sheridan, R. Book Review: Escape the Classroom Kobe JALT Journal 4 (1) 105-107 (2023).
- 2) 木村正則. 「大学における日本人英語教員のキャリアパスについての考察ー学校歴の視点からー」 『近畿大学教養・外国語教育センター紀要 外国語編』 13巻1号21-41頁 (2022),
- 3) 赤羽仁志. 「関係構造の派生と外在化について」 『教養・外国語教育センター紀要 外国語編』 13巻2号 25-48頁, (2022).

「学会発表」

- 1) Tanaka K.M, Sheridan, R. Engaging with the SDGs through Extensive Reading, Extensive Reading Around the World conference, Virtual Conference (2022).
- 2) Tanaka K.M, Sheridan, R. Social Issues, Cultural Contexts and the SDGS: A Preliminary Study, JALT 2022全国語学教育学会・第48回年次国際大会教材展示会、福岡県、福岡市、(2022).

3) Sheridan, R, Tanaka K.M. The development of relevant and engaging SDG materials for EFL learners, The 19th Annual CamTESOL Conference on English Language Teaching、カンボジア、プノンペン市、(2023).

4) 西垣佐理.

「ヴィクトリアン・マスキュリニティの確立と男性による看護—『嵐が丘』を中心に—」日本英文学会関西支部第17回大会シンポジウム、兵庫県、神戸市、甲南大学、2022年12月.

4) 各種委員会委員などの兼務業務

1) 全国語学教育学会大阪支部の企画委員長 (シェリダン)

2) 全国語学教育学会大阪支部の広報委員長 (2022年12月まで)
(シェリダン)

3) 全国語学教育学会大阪支部 Osaka JALT Journal 編集員 (シェリダン)

4) 全国語学教育学会大阪支部 Kobe JALT Journal レビューアー
(シェリダン)

5) ディケンズ・フェロウシップ日本支部VOD担当理事補佐 (西垣)